

# 令和7年度定時会員総会 議案

## 【第1号議案】

令和7年度  
事業報告（報告事項）  
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、  
貸借対照表、財産目録（承認事項）  
監査報告書（報告事項）  
自令和7年1月1日 至令和7年12月31日

## 【第2号議案】

令和8年度  
事業計画、収支予算書（報告事項）  
自令和8年1月1日 至令和8年12月31日

## 【第3号議案】

理事及び監事選任（選任決議事項）  
任期2年（令和10年まで）

※注記1：本書は「会員（社員）総会参考書類」を兼ねています。

※注記2：「令和7年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

※注記3

①会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使してください。

②当日ご出席願えない場合、「事前の議決権行使」をお願いします。招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法で3月9日までに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

令和8年3月11日  
公益社団法人北海道倶楽部

# 令和7年度定時会員総会 議案

【第1号議案】(●報告事項及び●承認事項)

## 令和7年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自令和7年1月1日 至令和7年12月31日

●報告事項

「令和7年度庶務事項報告（総会、理事会報告）」 . . . 1 ページ

「令和7年度事業報告」 . . . 10 ページ

「令和7年度 会員異動状況」 . . . 15 ページ

●承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」 . . . 16 ページ

「貸借対照表」 . . . 17 ページ

「財産目録」 . . . 18 ページ

「キャッシュフロー計算書」 . . . 19 ページ

「計算書類に対する注記，附属明細書」 . . . 20 ページ

●報告事項

「監査報告書」 . . . 21 ページ

【第2号議案】(●報告事項)

## 令和8年度 事業計画、収支予算書

自令和8年1月1日 至令和8年12月31日

●報告事項

「令和8年度事業計画書」 . . . 22 ページ

「令和8年度収支予算書」 . . . 25 ページ

【第3号議案】(●選任決議事項)

## 理事及び監事選任 任期2年（令和10年まで）

●選任決議事項

「理事及び監事選任」 . . . 26 ページ

(金額は原則円単位です。)

# 令和7年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 令和6年度定時会員総会 3月10日</p>	<p><b>第1号議案「令和6年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件</b> 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料の確認の後、資料の1～20頁に基づき説明した。 議長は鐵川照夫監事に監事を代表して監査報告を求めた。 監事は「令和6年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と監査報告をした。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p><b>第2号議案「令和7年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」の件</b> 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料22～25頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>最後に、議長から全般にわたり発言を募った。（詳細は省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は令和6年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2月20日 ・書面による理事会を除き、各理事会では、出席の代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 ・書面による理事会を除き、事務所での参加者を含め、WEB会議システム（Microsoft Teams）を利用し行う。出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる仕組みを確認後に議案の審議に入る。</p>	<p><b>第1号議案 令和6年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「令和6年度定時会員総会 議案」参照）</b> (1) 事業報告書 (2) 事業報告書の附属書類 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書（正味財産増減計算書） (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類 (6) 財産目録 (7) 監査報告書</p> <p><b>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件</b></p> <p><b>第3号議案 令和6年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項）</b> （別冊の「令和6年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき承認をお願いします。）</p> <p><b>第4号議案 役員辞任、委嘱の件</b></p> <p><b>第5号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件</b> (1) 会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条第1項第1号による資格喪失者の報告） (2) 会員の入会について (3) 会員の退会（登録会員の抹消を含む）、会員推移</p> <p><b>第6号議案 その他</b> (1) 新年交礼会実施結果について</p>

種 別	概 要
	<p>1月24日ホテルニューオータニにて立食形式で開催した。</p> <p>(2) 令和7年北方領土返還要求全国大会参加報告 2月7日、ニッショーホール（虎ノ門）</p> <p>(3) 令和7年度寄附のお願いの件</p> <p>(4) 広報紙「北海道 "NOW"」（会報）自治体紹介ページ 今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(5) 4月からの事務局業務について</p> <p>(6) 秋のイベント会場選定について</p> <p>(7) 理事会・評議員会・総会ほか予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>4月30日 (書面理事会)</p> <p>・以降各書面理事会の日付は事務所押印等のため事務所から発送した時点を記載した。</p> <p>・各書面理事会の議事録には全部の押印等が終了し事務所に返送された日時を記入した。</p>	<p><b>第1号議案 役員辞任、委嘱の件</b></p> <p><b>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出終了の件</b></p> <p><b>第3号議案 会員異動の件（新入会員審査ほか）</b></p> <p><b>第4号議案 100周年記念事業の件</b> 総務部会開催 日時 2025年5月16日（金）11時</p> <p><b>第5号議案 北海道新幹線延伸早期実現キャンペーン表記、支援内容の件</b> 表記に関しては「交流の夕べ」で変更するよう努める</p> <p><b>第6号議案 キャンペーンバッジ割引価格改定の件</b> 円安や材料費の高騰により5月1日から変更（大口注文の割引価格改定）</p> <p><b>第7号議案 その他（報告承認事項）の件</b></p> <p>(1) 寄附金の状況（令和7年4月22日現在）</p> <p>1) R6年実績 70人、2,576,000円 R7年予算 2,576,000円</p> <p>2) 応募64人、2,475,000円 入金者数52人、入金実績1,915,000円</p> <p>(2) キャンペーンの状況（令和7年4月22日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 634個・80,750円／47,203個・7,793,623円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 37個・9,000円／4,347個・852,330円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 5個・1,250円／3,477個・588,108円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲が飛ぶCDの状況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(3) 今後の予定ほか 具体的対応については評議員会・部会で検討する。</p> <p>1) 講演会 日時 2025年5月26日（月）14時から15時 場所 永田町ほっかいどうスクエア2階 アイオス会議室</p> <p>2) 交流の夕べ 8月4日（月）18時 銀座七丁目ライオン</p>

種 別	概 要
	<p>3) 交流イベント 10月14日(火)18時 ホテルニューオータニ</p> <p>4) 北方領土対応について 北方領土返還要求中央アピール行進 12月1日</p> <p>5) 6月19日 理事会・評議員会合同開催対応</p> <p>(4) 理事会等予定</p>
<p>6月19日 理事会(評議員会)</p>	<p><b>第1号議案 会長ご静養の件</b></p> <p><b>第2号議案 100周年事業 総務部会報告の件</b> 100周年事業に向けて5月16日(金)に総務部会が開かれ事業の道筋、内容、寄附金の取扱について検討</p> <p><b>第3号議案 特別講演会の件</b> 5月26日(月)14時から特別講演会を実施した。 議題 ウクライナの今と今後の日ロ関係の行方 講師 北海道新聞東京支社 編集局報道センター編集委員 渡辺玲男氏 参加者 約40名</p> <p><b>第4号議案 交流の夕べ、交流イベント、講演会等対面型イベントの件</b> (1) 参加者の事前募集と会費の事前徴収方法は今後も続けていく。 (2) 講演会の無料参加は維持した。諸般の情勢に鑑み他の3イベントについては一律に各1万5千円とし、ある個別イベントの収支が悪くとも他のイベントと総合すれば収支相償となるように対応を継続。</p> <p><b>第5号議案 交流の夕べについて</b> 昨年同様立食形式で行う予定。夕張支援のため夕張メロン付で行う。 開催日時 8月4日18時～20時 会場 銀座クラシックホール</p> <p><b>第6号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移)</b></p> <p><b>第7号議案 その他(報告承認事項)の件</b> (1) 寄附金の状況(令和7年6月16日現在) ① R6年実績 70人、2,576,000円 R7年予算 2,576,000円 ② 応募69件、2,605,000円、入金者数66人、入金実績2,475,000円 ③ 例年通り、会員外の寄附者は1年間賛助会員として、会報・各種案内を送る。イベント開催が行われる場合は高額寄附者へのイベントのご招待を行う。</p> <p>(2) キャンペーンの状況(令和7年6月16日現在) ① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 1,784個・262,750円/48,353個・7,975,623円 ② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 37個・9,000円/4,347個・852,330円 ③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 5個・1,250円/3,477個・588,108円 ④ ちぎれ千島に雲が飛ぶCDの状況</p>

種 別	概 要
	<p>本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(3) 今後の事業予定ほか(以下の具体的対応については、今後検討する)</p> <p>① 北方領土 ビザなし交流        現下の状況では、「ビザなし交流」の再開は困難と思われる。</p> <p>② 交流イベントは 事業部会を7月中に開催し、事業協力をお願いする体制を進めていきたい。</p> <p>③ 北方領土返還要求中央アピール行進 12月1日開催予定。</p> <p>④ 情報紙「北海道"NOW"」の 毎月の発行・配布、「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道"NOW"information」の掲載 北海道情報ラックに北海道情報を配布(毎月)</p> <p>⑤ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。「千島桜バッジ」の頒布を行う。北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</p> <p>(4) 理事会等予定</p> <p><b>第8号議案 100周年事業と倶楽部の今後に向けた活動の件</b></p> <p>(1) 事業を実施するための実行委員会(仮)の設置(人選は今後検討)</p> <p>(2) 役員担当表の確認とともに担当にかかわらず、理事の全面協力をお願いする</p> <p>(3) 100周年事業に向けた寄附金のお願い方法の検討</p> <p>1) 記念事業の予算規模の設定</p> <p>2) 募集する寄附金の目標額の設定</p> <p>(4) 100周年事業を考えると共に基礎となる倶楽部運営と100周年事業後の存続を考える。</p> <p>1) 倶楽部の財政を考え、寄附金に頼らない方法を考える</p> <p>2) 会費の値上げの検討</p> <p>3) 新入会員募集のために会員の種類をわかりやすいものにできないか</p> <p>4) 会員が倶楽部に求めるものは何かを考える</p> <p>(北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>8月29日 (書面理事会)</p>	<p><b>第1号議案 役員辞任、委嘱の件</b></p> <p><b>第2号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移)</b></p> <p><b>第3号議案 対面型公益事業(「交流の夕べ」)実施の件</b></p> <p>(1) 8月4日18時～20時 銀座ライオン クラシックホール        会費:15,000円 当日実参加者数58人(昨年59人)</p> <p>(2) 収支はほぼ昨年同様で262,173円の黒字になった。</p> <p>(3) メニュー内容を見直し、系列の日本料理店からの寿司桶をコースメニューの一部と置き換えることが可能となり、フードロスはかなり解消された。</p> <p>(4) 8年ぶりに銀座ライオン「ビヤホールの日」に合わせたサンバ隊が復</p>

種 別	概 要
	<p>活し、盛り上げていただいた。</p> <p><b>第4号議案 対面型公益事業（「交流イベント」「新年交礼会」）ほかの件</b></p> <p>(1) 10月 第59回交流イベントの開催について 経費削減もあり、初めてホテルニューオータニを使用することになった。</p> <p>① 日程：10月14日 18時～20時</p> <p>② 会場：ホテルニューオータニ 折り鶴 「麗の間」314㎡（前室84㎡有り）（昨年比較：明治記念館2階「富士の間②」370㎡）</p> <p>③ 会費：15,000円</p> <p>④ 想定収入：140人×15,000円＝2,100,000円 会合費等支出想定：1,960,000円（1名@14,000円）（会場設置費用を全て含む） 差引収支140,000円は案内印刷、郵送費用、運搬費等にあて最終収支は0とし、マイナスにならないよう努める。</p> <p>⑤ 事前申し込み、振込支払い制</p> <p>⑥ 実行委員会を開き8月19日に打ち合わせをした。内容は今年の協力状況と今年の協力依頼内容を確認し、イベントお手伝いの協力を要請した。9月初めに事業部会評議員、マスコミ各社維持会員にお願いを送り、協力参加者を募集する。</p> <p>(2) 1月新年交礼会</p> <p>① 立食形式で開催を検討する。収支相償を目標とする。</p> <p>② 日程予定 2026年1月30日（金）18時 ホテルニューオータニ</p> <p><b>第5号議案 100周年事業の件</b></p> <p>記念事業を行うにあたり、昨年度末より現在まで総務部会を2回、有志打ち合わせを1回開いた。寄附金を使用して行う事業の方向性や内容をまとめ、趣意書を作成し、10月、12月理事会で承認を行い、来年度から寄附金のお願いを実施できるよう進めて行く予定。</p> <p><b>第6号議案 その他（報告、承認事項）の件</b></p> <p>(1) 寄附金の状況（令和7年8月25日現在）</p> <p>① R6年実績 70人、2,576,000円 R7年予算 2,576,000円</p> <p>② 応募71人、2,625,000円 入金者数68人、入金実績2,495,000円</p> <p>(2) キャンペーンの状況（令和7年8月25日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 1,818個・271,250円／48,387個・7,984,123円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 39個・9,500円／4,349個・852,830円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 5個・1,250円／3,477個・588,108円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲が飛ぶCDの状況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(3) 今後の予定ほか</p>

種 別	概 要
	<p>1) 北方領土ビザ無し交流ほか 依然として再開の見通しは立っていない。間瀬理事（元北対協理事長）と対応を検討することとしたい。</p> <p>2) 12月1日 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」</p> <p>(4) 後援名義使用許可 ふるさと会連合会からの代々木フェアについての「後援名義使用承認願ひ」に許可を出した。</p> <p>(5) 理事会等予定</p>
<p>10月23日 (書面理事会) (評議員会)</p>	<p><b>第1号議案 交流イベントの件</b> 「第59回交流イベント」は10月23日ホテルニューオータニ「麗の間」で立食形式で開催した。評議員を中心に準備作業、搬出入、抽選品・土産品引渡しなど多岐にわたって協力いただいた。出席人数は昨年より少なく118名。収支は102,703円の黒字となった。今まで赤字が続いており、その解消に苦心してきたが、会場を変更したことにより会合費を大幅に減らすことができた。</p> <p><b>第2号議案 役員辞任、委嘱の件</b></p> <p><b>第3号議案 新入会員審査、会員の状況の件</b></p> <p><b>第4号議案 令和8年度の事業計画、予算の提出の件</b> 原則として令和7年の事業計画を基に次回理事会に原案を提出し決定し12月末までに内閣府に提出する。100周年に向けた事業計画についても決定事項を載せる予定。</p> <p><b>第5号議案 その他（報告承認事項）の件</b></p> <p>(1) 倶楽部の公益事業（行事）講演会の開催 本年度から講演会の開催を複数回にする予定でいたが、講師の推薦がなかったことと100周年事業の件もあり、本年度内の二度目の開催は難しく、来年度以降に持ち越しとする。</p> <p>(2) 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行について 例年通り標記の小冊子WEB版を12月に発行し倶楽部HPに掲載予定。事務局内製化により、外注の費用は掛からない。</p> <p>(3) 寄附金の状況（令和7年10月20日現在） 応募71人、2,625,000円 入金者数70人、入金実績2,605,000円</p> <p>(4) キャンペーンの状況（令和7年10月20日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 2,014個・313,750円／ 48,583個・8,026,623円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 55個・13,250円／ 4,365個・856,580円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 5個・1,250円／ 3,477個・588,108円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲が飛ぶCDの状況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／ 482枚・388,600円</p>

種 別	概 要
	<p>(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 (12/1) 1市4町で構成する北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催する「北方領土返還要求中央アピール行進」予定。</p> <p>(6) 令和8年新年交礼会の件</p> <p>(7) 理事会等予定</p> <p><b>第6号議案 100周年事業の件 (総務部会、部会長打ち合わせ報告)</b></p> <p>(1) 100周年事業内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2027年10月に祝賀会を行う。10月13日の新渡戸稲造の命日を第一候補とする。同時に講演会を行うかどうかは後日検討する。</li> <li>2) 100周年事業に当たって、基金を創設し、北海道発展のための人材支援等を検討する。支援の具体的内容については、各年度に適切な内容を検討し(応募可、複数年案可)理事会で決定することとする。</li> <li>3) 倶楽部の周知のため、ホームページを改良し、新しいサイトを作成する。北海道の自治体の情報統合発信などを検討。</li> </ol> <p>(2) 100周年寄附金について (別紙参照) 寄附金の募集案として以下の条件を検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 該当年次には毎年の寄附依頼は行わない。</li> <li>2) 基金名を決める必要があるが、倶楽部としては法人法第131条に基づく基金ではなく、「公益充実資金(新制度)」で行う必要があるため、混同されないよう名称を決める必要がある。</li> <li>3) 募集内容は以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持会員 10万円一口として既存会員企業は10口以上、新規会員募集にあたっては5口以上</li> <li>・正会員 1千円を一口として既存会員50口以上、新規会員募集にあたっては10口以上</li> </ul> </li> </ol>
<p>12月18日 理事会(評議員会)</p>	<p><b>第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件 (別紙参照)</b></p> <p>定款第50条の定めにより、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされている。以下の通りご承認下さい。(「第1号議案 別紙 令和8年度事業計画及び収支予算並びに資金調達設備投資の見込みの件」参照)</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙(「別紙 令和8年度事業計画書」)の通り、令和8年度の事業計画を作成した。基本的に前年の事業計画書に準じ作成し、100周年事業関連事業を加えた。</p> <p>(2) 収支予算書について 令和7年度の仮決算(「別紙 令和7年度仮決算」)を踏まえ、令和8</p>

種 別	概 要
	<p>年度事業計画を遂行するため別紙（「別紙 令和8年度収支予算書」）の通り、令和8年度収支予算を作成した。100周年の公益事業の原資は寄附を充てられるが、法人会計で充当しなくてはならない事業費も増えると想定され、主要原資は会費の1/2と名簿広告料のみなので今後の課題。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み 別紙「資金調達及び設備投資の見込み」の通り。</p> <p><b>第2号議案 令和7年度事業報告等の作成、総会日程の方針について</b> 令和7年度の「事業報告」等は前年に準じて作成し、その後監査を受け、2月理事会で承認後直ちに「定時会員総会招集通知、議案」を発送し（総会の2週間前）、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとする。 今総会は役員（理事、監事）選任の議案を提出予定。2月理事会で、総会議案において推薦する役員候補を決定する。 評議員、相談役、顧問及び参与も定時会員総会終結時に任期終了となる。後任は上記改選後の理事会の推薦により、理事長が委嘱する。</p> <p><b>第3号議案 アピール行進参加について</b> (1) 「北方領土返還要求中央アピール行進」（12月1日）に参加 北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の主催する行進に、川村会長、有末副理事長、事務局員3名の計5名で参加した。 （総参加者は元島民をはじめ全国から約500人）京橋公園前から常盤橋公園前までシュプレヒコールを行い行進した。</p> <p><b>第4号議案 100周年事業関連事項について</b> (1) 100周年を契機として令和8年度（2026年1月）より3年間（2028年12月まで）、本格的に公益充実資金として寄附金募集を行う。別紙「寄附金 趣意書」をご承認ください。 (2) 100周年関連の公益事業は令和9年度の100周年の年に向けて、各部会、評議員会で討議を行い、理事会で承認のもと進めていく予定。 (3) 定款47条に基づき「公益充実資金取扱規程」（別紙参照）を制定することとしたく、ご承認ください。今後本法人の公益事業への全ての寄附は公益充実資金として、100周年対応の公益事業を含む本法人の全ての公益事業に充てるものとする。寄附金は現在の銀行口座への振込とし、年度末に振り分けて管理することを検討している。 (4) 内閣府などから修正の指示等があった場合は、理事会の承認を得て修正することがある。 (5) 来年は会員名簿作成の年となるので、これを100周年記念版として発行する予定。</p> <p><b>第5号議案 評議員の退任の件</b> <b>第6号議案 新入会員審査の件、会員数について</b> <b>第7号議案 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行について</b> 標記の小冊子WEB版を12月26日付で発行し、倶楽部のHPに掲載する。</p>

種 別	概 要
	<p>2025年1年間に北海道"NOW"に掲載した21市町村で、再度北海道と各市町村の校正を経て完成させる。予算の関係で、本年もWEB版の発行となった。WEB版発行は事務局内製化により、外注の費用は掛かっていない。</p> <p><b>第8号議案 会員募集と会費の件</b>  長年の懸案事項として会員減少による会費収入の減少を問題としている。議論が継続して必要。</p> <p><b>第9号議案 その他報告事項</b></p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <p>① 令和7年度予算 257.6万円</p> <p>② 12月10日現在実績 260.5万円、70人</p> <p>③ 令和8,9,10年度は「100周年記念 寄附のお願い」と称して本格的に公益充実資金として寄附金募集を行う。以後の年度は「100周年記念 寄附のお願い」とは称さずに寄附の募集を行う。いずれも「公益充実資金取扱規程」の適用を受ける。</p> <p>④ 税額控除の適用となります。</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>① 令和7年度予算579万円（内訳正会員177万円 維持会員402万円）</p> <p>② 12月10日現在実績 559.5万円（内訳正会員166.5万円 維持会員393万円）</p> <p>③ 令和8年度会費（1月～12月分）の請求は4月の予定。</p> <p>(3) ブラウンリボンバッジの状況  本年度（12/10現在）2,120個、335,250円 累計48,689個、8,048,123円</p> <p>(4) 千島桜バッジの状況  本年度（12/10現在）61個、14,750円 累計4,371個、858,080円</p> <p>(5) 北海道新幹線バッジの状況  本年度（12/10現在）5個、1,250円 累計3,477個、588,108円</p> <p>(6) ちぎれ千島に雲が飛ぶ（CD）の状況  本年度（12/10現在）0枚、0円 累計482枚、388,600円</p> <p>(7) 令和8年新年交礼会開催予定  令和8年1月30日（金）18時 ホテルニューオータニ 麗の間（予定）  会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催予定。</p> <p>(8) 理事会等予定  （北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて）</p>

種 別	概 要
<p><b>1. キャンペーン推進のための事業</b></p> <p>(1) 新年交礼会 1月24日</p>	<p>1月24日(金) 18時 ホテルニューオータニ 会費1万5千円</p> <p>立食形式にて、約70名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「地域活性化・ふるさと納税」「北海道新幹線早期実現」をテーマに新年交礼会を開催した。</p> <p>川村隆会長は、停滞する北方領土返還運動について「きちんと運動を続けなければならない。倶楽部も12月に都内で行われたアピール行進に参加するなど、運動の中心になって頑張っている」とあいさつした。(次第、写真及び会報記事参照)</p> <div data-bbox="997 179 1476 627" data-label="Complex-Block"> <p><b>公益社団法人北海道倶楽部 We Love Hokkaido</b></p> <p><b>令和7年新年交礼会</b></p> <p>「ちぎれ千島に雲が飛ぶ(森繁久弥)」の後 1. 開会の辞 ～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 川村 隆</p> <p>2. 来賓挨拶 北海道 副知事 濱坂 真一様</p> <p>3. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>4. 自治体ご挨拶・広報 札幌市 東京事務所長 佐藤 美賀 様</p> <p>5. 乾杯 (会長) 川村 隆 (副理事長兼常務理事) 鈴木 秀一(発声) (副理事長) 有未 真哉 本間 修 (理事) 岡村 進 間瀬 雅晴 (監事) 澤野 正明 18:30 精神的な交流(名刺交換など)をお願いします。 6. 懇談 20時 上條 努(評議員会議長)</p> <p>7. 中締め 20時 上條 努(評議員会議長)</p> <p>3. ご紹介(敬称略) その場でお声を掛けて下さい。</p> <p>政党・国会議員(および事務所の代理の方) 参議院議員 鈴木 宗男 参議院議員 竹谷 とし子</p> <p>北海道 北海道 副知事 濱坂 真一 北海道 東京事務所長 上田 昌弘 帯広市 東京事務所長 大林 健一 札幌市 東京事務所長 佐藤 美賀</p> <p>ふるさと会 北海道ふるさと会連合会 会長 新家 鶴男 北海道ふるさと会連合会 副会長 三井 照夫 北海道ふるさと会連合会 事務局長 奥山 龍夫 東京実業会 会長 鷲海 徹</p> <p>令和7年1月24日(金) 18時～20時 会場 ホテルニューオータニ「麗の園」</p> <div data-bbox="997 649 1476 840" data-label="Complex-Block"> <p><b>We Love Hokkaido</b></p> <p>北方領土返還・地域活性化・ふるさと納税・北海道新幹線早期実現</p> <p><b>キャンペーン</b></p> <p>北海道 早期実現 新幹線 プラン リボンパジャ 北方領土返還 千島桜 シンボルパジャ 北方領土返還 地域活性化 ふるさと納税</p> <p>※ お得りに「ふれんど田舎劇」(豆劇)をお土産にご用意しております。是非お持ち帰り下さい。(数に限りがございますので、ご了承ください。)</p> </div> </div> 
<p>(2) 令和7年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により、2月7日の北方領土の日</p> <p>に東京・港区のニッショーホールで開催された。訪米中の石破茂首相はビデオメッセージで、領土返還を実現して平和条約の締結を目指す」と改めて強調した。元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1000人が参加し、倶楽部からも間瀬理事ら5人が参加した。</p> <div data-bbox="1037 940 1484 1276" data-label="Image"> </div>
<p>(3) 交流の夕べ 8月4日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。</p> <p>大久保尚武理事長は、「倶楽部は2年後に創設百周年を迎える。どんな形で祝うかを今、倶楽部で検討中だ。積極的な協力をお願いしたい」と呼びかけた。続いて大野哲弘北海道東京事務所長から祝辞をいただいた。この後、約60人の参加者らは食事を楽しみながら懇談した。8年ぶりに銀座ライオン「ビヤホールの日」に合わせたサンバ隊が復活し、パーティを盛り上げた。(次第、写真及び会報記事参照)</p> <div data-bbox="1053 1388 1476 1792" data-label="Complex-Block"> <p><b>公益社団法人北海道倶楽部</b></p> <p><b>第27回 交流の夕べ</b></p> <p>令和7年 8月4日(月) 銀座クラシックホール</p> <p>次 第 (開始18時00分 開始前に森繁久弥さんの「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を流します。)</p> <p>1. 会長挨拶 大久保 尚武(理事長)</p> <p>2. 祝辞 大野 哲弘 様(北海道東京事務所長)</p> <p>3. 国会議員、自治体、ふるさと会ほか ご紹介(名簿〇印記載の通り) 敬省略</p> <p>4. 新入会会員ご紹介 (名簿〇印記載の通り) 敬省略</p> <p>5. 乾杯(18:15) 有未 真哉(副理事長) 出席役員全員で上へお上がり下さい。</p> <p>6. 懇談 (名刺交換を積極的に行って頂きますようお願いいたします。)</p> <p>7. アトラクション(18:40) 石原 可奈子(ピアニスト)</p> <p>8. 抽選会(19:00) 鈴木 秀一(副理事長)</p> <p>9. 中締め(～20:00) 上條 努(評議員会議長)</p> </div> <div data-bbox="1053 1803 1476 2004" data-label="Complex-Block"> <p><b>We Love Hokkaido</b></p> <p>地域活性化 ふるさと納税・新幹線札幌開業早期実現</p> <p><b>キャンペーン</b></p> <p>新幹線 札幌開業 早期実現 プラン リボンパジャ 北方領土返還 千島桜 シンボルパジャ 北方領土返還 地域活性化 ふるさと納税</p> </div> 

種 別	概 要
<p>(4) 交流イベント 10月14日 (旧道産子の会)</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還運動推進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第59回交流イベント」が10月14日夜、東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれた。会員、会員外を含め約130人が参加した。</p> <p>冒頭、大久保尚武理事長が北海道倶楽部への協力を呼びかけた。国土交通省の石川伸北海道局長、大野哲弘北海道東京事務所長のご祝辞の後、国会議員や自治体関係者らが紹介された。</p> <p>乾杯後、パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)修了生の若手演奏家がイベント開始前と乾杯後のアトラクションで演奏し、参加者を魅了した。また、恒例の福引抽選会はイベントを盛り上げた。御協賛社は47社に上った。会場の一角にははかつてビザなし交流で北方領土を訪れた会員らが撮った、数多くの写真が展示された。(次第、写真及び会報記事参照)</p> <div data-bbox="957 168 1492 537" data-label="Complex-Block"> </div> <div data-bbox="1197 548 1492 728" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1197 728 1492 884" data-label="Image"> </div>
<p>(5) 北方領土返還要求中央アピール行進参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことになんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に毎年開催しており、今回で18回目となった。</p> <p>今年の行動には、根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約500人が参加した。参加者らは京橋公園から常盤橋公園まで約2kmをデモ行進した。北海道倶楽部からも川村隆会長、有末真哉副理事長ら5人が参加した。</p> <div data-bbox="1165 1198 1492 1467" data-label="Image"> </div>
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道"NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 地域振興等キャンペーンに資するため、平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は檜山振興局、後志総合振興局の合計21市町村を順次掲載した。</p> <p>2) 「北海道の市と町と村をご紹介 Vol. 7」WEB版発行 今年度の1年間に北海道"NOW"に掲載した檜山振興局、後志総合振興局の合計21市町村を再録し、地域振興等キャンペーンに資するため、小冊子WEB版(86頁)として12月26日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。</p> <p>3) 北海道"NOW" インフォメーションに掲載 地域振興等キャンペーンに資するため、北海道等が主催・共催・後援する事</p> <div data-bbox="1085 1780 1492 2049" data-label="Image"> </div>

種 別	概 要
	<p>業を本年度は、下記の広報記事を掲載し広報した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道東京事務所（大阪・関西万博でアイヌ文化発信、農業体験参加者募集）</li> <li>・パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌公演</li> <li>・夕張市のふるさと納税、夕張 Likers!</li> <li>・北海道根室振興局</li> <li>・北海道総務部北方領土対策本部</li> </ul> <p>4) 夕張市振興へ協力</p> <p>8月の「交流の夕べ」で夕張振興を訴え、「夕張メロン」を参加者にお土産として提供し、夕張市の「ふるさと納税」のパンフレットを配布するなどの支援イベントを行った。</p>
<p>(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン</p>  	<p>1) ブラウンリボンバッジについて</p> <p>北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年1月)</p> <p>配布バッジ数累計 48,760 個（無料分を含む）（うち本年度配布 2,191 個）  収入総額 8,063,373 円（発注バッジ総数 45,588 個、発注総額 4,556,322 円）</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」</p> <p>北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に努めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月)</p> <p>配布バッジ数累計 4,426 個（無料分を含む）（うち本年度配布 116 個）  収入総額 870,580 円（発注バッジ総数 6,000 個、発注総額 574,646 円）</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布</p> <p>北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 482 枚、本年度 0 枚（無料分を含む）  累計収入金額 388,600 円 本年度収入金額 0 円</p>
<p>(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) 北海道新幹線札幌駅延伸早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線の札幌駅延伸をより早期に実現するためには、「日常</p>

種 別	概 要
	<p>会話に登場する北海道新幹線札幌駅延伸早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mmサイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線札幌駅延伸早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年8月)</p> <p>配布バッジ数累計 3,477個(無料分を含む)(うち本年度配布5個)</p> <p>累計収入総額 588,108円(発注バッジ総数6,000個、金額675,675円)</p> <p>(北海道新幹線(新青森―新函館北斗間)は、平成28年3月26日に開業。札幌延伸は平成24年6月工事実施計画が認可され、当初の2030年度末開業予定から大幅に延期され、2038年度末になる見通し。)</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業特別講演会</p>	<p>「ウクライナの今と今後の日ロ関係の行方」</p> <p>北海道倶楽部主催の講演会は、5月26日、東京・千代田区の「永田町ほっかいどうスクエア」で会員外を含め約40人の聴衆を集めて開かれた。講師は北海道新聞東京支社編集局報道センター編集委員の渡辺玲男氏で、上記演題にて講演し、「停滞する日ロ関係については(現在中止されている)北方墓参の再開が糸口になる」と述べた。参加者は広く一般を対象とし、会報と倶楽部HPで告知をし、参加費は無料とした。</p> 
<p>4. キャンペーン推進のためのメディア事業</p> <p>(1) 北海道情報紙「北海道NOW」の配布</p>	<p>北海道情報紙「北海道NOW」の配布</p> <p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第798号から第808号まで1000部印刷し発行(毎月1日、ただし2月1日号は休刊)</p> <p>会員以外への配布もおこなった。(北海道情報ラック)HPにも掲載している。WEB版としてHP上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセスでき、様々な読者層にアピールすることができる。</p> <p>前掲2.(1)-2)の通りWEB版発行。</p>
<p>(2) 「北海道の市と町と村をご紹介」</p>	<p>18カ所(レストラン、店舗等)設置</p> <p>北海道関連のパンフレット(「北海道NOW」の紹介頁の市町村などのもの)</p>
<p>(3) 北海道情報ラック設置</p>	<p>北海道情報紙「北海道NOW」などを毎月送付し、無償配布。</p>

種 別	概 要
(4) 倶楽部ホームページ対応	倶楽部の公益事業の対外的広報のため、内容の更新に努めた。 イベント等の参加申込、終了報告、その他報告事項など更新を行った。
5. 協賛・後援名義の付与など	<p>1) 「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」 川村会長が顧問に就任中。</p> <p>2) ふるさと会連合会「第29回産直フェア」(代々木フェア)</p> <p>3) ほっかいどう応援団会議参加中。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

# 令和7年度 会員異動状況

(令和7年12月末現在)

		令和6年度末	内 容			令和7年度末
			増	減	差引	
単位						
維持 会 員	社数 (社)	95	2	3	△ 1	94
	口数 (口)	137	2	6	△ 4	133
	登録 会 員 数 (名)	183	34	40	△ 6	177
正会員数 (名) (名誉会員1名を含む)		114	7	7	0	114
個人会員数 合 計 (名)		297	41	47	△ 6	291

# 損益計算書（正味財産増減計算書）

## 令和7年度損益計算書(正味財産増減計算書)

令和7年度 1月1日～12月31日

・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人 総計(合計)	前年度決算 令和6年12 月31日	決算増減 (令和7年-令 和6年)
一般正味財産増減の部						
経常増減の部						
経常 収益 ( 収入 )	(1) 経常収益 [収入]					
	受取会費					
	(入会金)	20,000	20,000	40,000	35,000	5,000
	(正会員会費収入)	832,500	832,500	1,665,000	1,785,000	△120,000
	(維持会員会費収入)	1,980,000	1,980,000	3,960,000	4,110,000	△150,000
	事業収入			0		
	(広告収入)	888,000	0	888,000	2,188,000	△1,300,000
	(交流、キャンペーン等収入)	2,240,490	1,688,207	3,928,697	4,211,349	△282,652
	受取寄附金(寄附・協賛金)	2,605,000	0	2,605,000	2,576,000	29,000
	受取利息	0	5,287	5,287	305	4,982
雑収入	1,188	12,602	13,790	40	13,750	
経常収入計(収入高合計)	8,567,178	4,538,596	13,105,774	14,905,694	△1,799,920	
経常 費用 ( 事業費 ・ 管理費 )	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費			
	給料手当	2,275,417	1,516,945	3,792,362	4,071,027	△278,665
	諸謝金	20,000	0	20,000	15,000	5,000
	法定福利費	28,234	18,822	47,056	51,107	△4,051
	外注費	2,821,776	159,200	2,980,976	4,152,132	△1,171,156
	荷造運賃	30,975	1,130	32,105	38,266	△6,161
	会議費	38,500	39,000	77,500	88,000	△10,500
	旅費交通費	233,393	18,926	252,319	417,824	△165,505
	通信費	561,249	267,265	828,514	946,328	△117,814
	会合費	1,687,257	1,491,521	3,178,778	3,599,457	△420,679
	消耗品費	196,696	131,670	328,366	356,240	△27,874
	修繕費	0	0	0	0	0
	新聞図書費	83,920	0	83,920	137,740	△53,820
	賃借料	111,670	74,446	186,116	168,304	17,812
雑費	332,634	96,079	428,713	684,032	△255,319	
経常費用計(事業費・管理費計)	8,421,721	3,815,004	12,236,725	14,725,457	△2,488,732	
	145,457	723,592	869,049	180,237	688,812	
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)	145,457	723,592	869,049	180,237	688,812	
※一般正味財産期首残高		※	3,930,407	3,750,170	180,237	
一般正味財産期末残高			4,799,456	3,930,407	869,049	
正味財産期末残高			4,799,456	3,930,407	869,049	

※令和6年度決算の期末残高

# 貸借対照表

貸 借 対 照 表  
(令和7年12月31日) (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金・預金	4,207,040	3,185,956	1,021,084
貯蔵品	40,011	33,273	6,738
キャンペーン品	768,373	687,676	80,697
未収入金	20,600	75,000	△54,400
仮払金	0	0	0
<b>流動資産合計</b>	<b>5,036,024</b>	<b>3,981,905</b>	<b>1,054,119</b>
<b>2. 固定資産</b>			
什器備品	3,000	3,000	0
<b>固定資産合計</b>	<b>3,000</b>	<b>3,000</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,039,024</b>	<b>3,984,905</b>	<b>1,054,119</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	46,140	42,185	3,955
仮受金	193,428	12,313	181,115
<b>流動負債合計</b>	<b>239,568</b>	<b>54,498</b>	<b>185,070</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給与引当金	0	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>239,568</b>	<b>54,498</b>	<b>185,070</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
一般正味財産 (正味財産期末残高)	4,799,456	3,930,407	869,049
<b>正味財産合計</b>	<b>4,799,456</b>	<b>3,930,407</b>	<b>869,049</b>
<b>負債および正味財産合計</b>	<b>5,039,024</b>	<b>3,984,905</b>	<b>1,054,119</b>

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

# 財産目録

財産目録 (令和7年12月31日)

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減
<b>(流動資産)</b>					
現金・預金		運転資金として	4,207,040	3,185,956	1,021,084
現金	現金手元有高		0	0	0
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		1,876,455	470,005	1,406,450
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		605,202	1,873,880	△1,268,678
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		446,942	446,860	82
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0
貯金	郵便振替預金		978,441	95,211	883,230
貯蔵品計		在庫として	40,011	33,273	6,738
切手	事務所保管		28,259	23,556	4,703
はがき	事務所保管		3,222	2,457	765
レターパック	事務所保管		5,530	4,260	1,270
金券(クオカード)			3,000	3,000	0
キャンペーン品計		在庫として	768,373	687,676	80,697
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		188,280	94,038	94,242
千島桜バッジ	事務所保管		200,133	213,133	△13,000
CD	事務所保管		86,360	86,360	0
新幹線バッジ	事務所保管		293,600	294,145	△545
未収入金			20,600	75,000	△54,400
仮払金			0	0	0
<b>流動資産合計</b>			<b>5,036,024</b>	<b>3,981,905</b>	<b>1,054,119</b>
<b>(固定資産)</b>					
什器備品計			3,000	3,000	0
絵画 西村計雄 「ハイデルベルヒ63」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
電話加入権		備忘価額	0	0	0
<b>固定資産合計</b>			<b>3,000</b>	<b>3,000</b>	<b>0</b>
<b>資産合計</b>			<b>5,039,024</b>	<b>3,984,905</b>	<b>1,054,119</b>
<b>(流動負債)</b>					
未払金			46,140	42,185	3,955
仮受金計			193,428	12,313	181,115
内 雇用保険			9,978	12,313	△2,335
<b>流動負債合計</b>			<b>239,568</b>	<b>54,498</b>	<b>185,070</b>
<b>(固定負債)</b>					
退職給付引当金			0	0	0
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>239,568</b>	<b>54,498</b>	<b>185,070</b>
<b>正味財産合計</b>			<b>4,799,456</b>	<b>3,930,407</b>	<b>869,049</b>
<b>負債および正味財産合計</b>			<b>5,039,024</b>	<b>3,984,905</b>	<b>1,054,119</b>

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目(引当金等明細)が無いため、作成しない。

# キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法) (令和7年12月31日) (単位円)

1月1日~12月31日

加算減算項目	計算項目	同左	加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	869,049		869,049
貯蔵品(増減)	6,738		△ 6,738
キャンペーン品(増減)	80,697		△ 80,697
未収入金(増減)	△ 54,400		54,400
仮払金 (増減)	0		0
固定資産 (増減)	0		0
未払金 (増減)	3,955		3,955
仮受金 (増減)	181,115		181,115
退職給与引当金(増減)	0		0
	キャッシュフロー		1,021,084

科 目	当年度	前年度
現金・預金	4,207,040	3,185,956

増減	1,021,084
----	-----------

# 計算書類に対する注記, 附属明細書

## 計算書類に対する注記、附属明細書

### 1 重要な会計方針ほか

(1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。

会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。

(会費規程第6条適用) 公益社団法人北海道倶楽部会費規程 (会費の使途)

第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。

(2) イベントの交流、キャンペーン等収入は当該イベント事業費支出の公益事業会計と法人会計の支出割合で配賦した。

(3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。

(4) イベント会場に支払う飲食・会場費は60%を公益事業会計に配賦し、会場に持込使用する酒類、土産類は法人会計に計上した。

(5) 通信費の内、電話、FAX及びインターネット費用は使用割合により、公益事業会計に配賦した。他は個別に配賦した。

(6) 下記の通り、上記配賦基準により公益事業会計と法人会計に配賦した。

科目	総額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	40,000	20,000	20,000	公益収益割合	50%
正会員会費収入	1,665,000	832,500	832,500	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	3,960,000	1,980,000	1,980,000	公益収益割合	50%
広告収入	888,000	888,000	0		
北海道NOW 広告	888,000	888,000	0	個別配賦	100%
会員名簿広告	0	0	0	個別配賦	0%
交流、キャンペーン等収入	3,928,697	2,240,490	1,688,207		
交流、キャンペーン等収入 内 新年交際会会費等収入	3,750,000	2,061,793	1,688,207	事業費支出割合	55.0%
交流、キャンペーン等収入 内 バッジ等収入	178,697	178,697	0	個別配賦	100%
寄附・協賛金	2,605,000	2,605,000	0	個別配賦	100%
受取利息	5,287	0	5,287	個別配賦	0%
雑収入	13,790	1,188	12,602	個別配賦	100%
合計	13,105,774	8,567,178	4,538,596		

給料手当	3,792,362	2,275,417	1,516,945	従事割合	60%
諸謝金	20,000	20,000	0	従事割合	100%
法定福利費	47,056	28,234	18,822	従事割合	60%
外注費	2,980,976	2,821,776	159,200		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,657,226	2,657,226	0	個別配賦	100%
外注費 事務局業務委託	274,250	164,550	109,700	個別配賦	60%
外注費 総会議案印刷等	49,500	0	49,500	個別配賦	0%
荷造運賃	32,105	30,975	1,130		
荷造運賃 資料送付等運搬	1,130	0	1,130	個別配賦	0%
荷造運賃 イベント土産等運搬	30,975	30,975	0	個別配賦	100%
会議費	77,500	38,500	39,000		
会議費 講演会会議室賃料	38,500	38,500	0	個別配賦	100%
会議費 総会議室賃料	39,000	0	39,000	個別配賦	0%
旅費交通費	252,319	233,393	18,926		
旅費交通費 公益事業分	208,865	208,865	0	個別配賦	100%
旅費交通費 法人会計分	2,574	0	2,574	個別配賦	0%
旅費交通費 公益・法人会計振分対応分	40,880	24,528	16,352	個別配賦	60%
通信費	828,514	561,249	267,265		
通信費 公益事業分	434,519	434,519	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	182,778	0	182,778	個別配賦	0%
通信費 電話、インターネット 公益・法人会計振分対応分	211,217	126,730	84,487	使用割合	60%
通信費 郵便 公益・法人会計振分50:50対応分	0	0	0	使用割合	50%
会合費	3,178,778	1,687,257	1,491,521		
会合費 法人会計対応分(土産、酒類ほか)	366,683	0	366,683	個別配賦	0%
会合費 会場支払分等	2,812,095	1,687,257	1,124,838	対応の割合	60%
消耗品費	328,366	196,696	131,670		
消耗品費 公益事業分	0	0	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	540	0	540	個別配賦	0%
消耗品費 公益・法人会計振分対応分	327,826	196,696	131,130	使用割合	60%
新聞図書費	83,920	83,920	0	個別配賦	100%
賃借料(事務所使用料)	186,116	111,670	74,446	使用割合	60%
雑費	428,713	332,634	96,079		
雑費 公益事業分	259,266	259,266	0	個別配賦	100%
雑費 法人会計対応分	47,167	0	47,167	個別配賦	0%
雑費 公益・法人会計振分対応分	122,280	73,368	48,912	使用割合	60%
合計	12,236,725	8,421,721	3,815,004		

(7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

### 2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	4,207,040	3,185,956	1,021,084
その他流動資産	828,984	795,949	33,035
流動資産合計	5,036,024	3,981,905	1,054,119
その他流動負債	239,568	54,498	185,070
流動負債合計	239,568	54,498	185,070
差額	4,796,456	3,927,407	869,049
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,000	3,000	0
固定負債	0	0	0
差額	3,000	3,000	0
正味財産合計	4,799,456	3,930,407	869,049

令和8年2月19日

公益社団法人北海道倶楽部

代表理事 理事長 大久保 尚武殿

## 監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

令和7年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部

監事 澤野 正明 ⑩

監事 鐵川 照夫 ⑩

令和7年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

令和8年3月11日

公益社団法人 北海道倶楽部

代表理事 理事長 大久保 尚武⑩

# 令和8年度事業計画書

令和8年1月1日から令和8年12月31日まで

種 別	概 要
令和8年度事業計画 1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益事業の推進にあたって、今後の社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルも検討する。</li> <li>・倶楽部の事業を行うについて、会報などで会員等に協力をお願いする。この場合、会員等から申し出のあった事業の内容（計画、推進方法、事業収支、予測される効果等）について、理事会の承認と支援のもと申し出をした会員等が主体的に事業を実施する。理事会はその事業について定款との適合性、事業収支の妥当性（収支相償など）等について総合的に検討のうえ判断する。</li> </ul>
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の減少による会費収入の減少に対処し、寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。</li> <li>・本年度より100周年記念事業 寄附金募集を始めるが、その管理は定期的に理事会へ報告し、承認を得ることとする。</li> <li>・創設100周年記念会員名簿を前倒しで発行し、記念広告料を集めて、創設100周年に伴い増加すると想定される法人会計の原資の一部に充てる。</li> <li>・公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。</li> <li>・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。</li> <li>・理事会のリモート会議と対面での会議のハイブリッドな対応につとめ、評議員会、部会の活性化とともに基本方針に沿い会員参加型事業推進の定着に務める。</li> <li>・事務局業務はリモートワークと事務所での作業とのバランスを注視する。</li> <li>・事務局の体制整備のため、人材の確保、育成をはかる。</li> </ul>
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。</li> <li>・昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。</li> <li>・「北海道NOWのインフォメーション」頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。</li> <li>・令和9年（2027）に倶楽部創設100周年を迎えるため、昨年より行ってきた創設100周年記念事業の準備を引き続き行う。記念事業は会報等で広く意見を求めた案や各部会提案などを評議員会で選定し、創設100周年事業に相応しい内容や進め方を検討し、理事会の承認を受け実施する。</li> <li>・下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。</li> </ul>
広報活動	<p>（1）北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道NOW」（本紙年11回）を発行する。</li> <li>・引き続き、道内各自治体の紹介ページ（ふるさと納税なども紹介）を継続するとともに、WEB版の発行の為の業務を続ける。</li> <li>・北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等（行政や各種団体）の広報を行う。（「インフォメーション」の頁の新しい活用方法を検討する。）</li> <li>・「北海道NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。</li> <li>・HPの活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・継続して「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行（WEB）を目指す。</li> </ul>
地域活性化事業支援	<p>（2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p>

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会（北海道と根室地域 1 市 4 町で構成）」、「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。</li> </ul>
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。</li> <li>・内閣府（含む倶楽部）などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」（2 月 7 日、北方領土の日）に参加する。</li> <li>・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」（12 月 1 日、銀座行進）に参加する。</li> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」（年 11 回）配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。</li> </ul>
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。</li> </ul>
新幹線延伸早期実現	<p>(5) 北海道新幹線延伸早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道新幹線延伸早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線延伸早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。</li> </ul>
北海道情報紙特別講演会の開催外部イベント等への参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記的手法・方策等を総合的に適用し推進する。（一部重複・再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」（本紙年 11 回）を発行する。</li> <li>・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・倶楽部の事業に関連したテーマで特別講演会を開催する。</li> <li>・ほっかいどう応援団会議に参加し協力する。</li> </ul>
4. イベント開催による公益事業等の推進	<p>(1) キャンペーンなどの公益事業の推進を倶楽部主催のイベント開催の場を使い推進する。</p> <p>(2) 新年交礼会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 月に開催の「新年交礼会」は倶楽部の公益事業の年度初めのスタートとする。</li> </ul> <p>(3) 交流の夕べ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8 月に開催する「交流の夕べ」は倶楽部の夏を乗り切る事業として開催する。</li> </ul> <p>(4) 交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道産子の会として倶楽部が古くから最大のイベントとしてきたもので、参加者が協力し、倶楽部の事業を共有する最大のイベントとして本年度も実施する。</li> </ul>

種 別	概 要	予定時期
別表 <b>公益事業計画</b> <b>時期別一覧表</b>  ・ イベント・講演会等は HP などでは会員外、一般へ参加案内しません。  ・ 部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。  ・ 状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更します。  ・ 一部公益事業以外も掲載してあります。	新年交礼会 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	1月30日
	「北方領土返還要求全国大会」(北方領土の日) 「北方領土返還要求中央アピール行進」	(例年開催時期) 2月7日 12月1日
	交流の夕べ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	(例年開催時期) 8月4日
	交流イベント「We Love Hokkaido」(旧道産子の会) キャンペーン、公益事業の広報。	(例年開催時期) 10月予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立つが、当然一般の方も参加できる。原則無料とする。(大規模開催で諸経費が大幅にかかる場合は有料とする場合あり。) 講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、HPなどで一般参加を呼びかける。	未定(講師、会場等のスケジュールによる。年1、2回を予定)
	キャンペーンバッジ頒布 ・ 北方領土返還要求運動キャンペーン「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」(本紙年11回)を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布(有料 月額80円)有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道"NOW"information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	創設100年記念会員名簿発行	10月
	WEB版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道"NOW"」に連載している1年分の市町村情報をまとめ、小冊子形式のWEB版にして発行する。 HPで一般の無料閲覧が可能。	12月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	会報発行月
ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	毎月	
その他 ・ 倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・独立会計、北星会(ゴルフ))	随時	

## 令和8年度収支予算書

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条)</li> <li>・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。</li> <li>・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。</li> <li>・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。</li> <li>・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。</li> </ul>		[K] 公益事業会計	[H] 法人会計	[T] 公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益(収入)	(1) 経常収益[収入]			
	[収入]			
	入会金	17,500	17,500	35,000
	正会員会費収入	817,500	817,500	1,635,000
	維持会員会費収入	1,935,000	1,935,000	3,870,000
	広告収入	788,000	1,300,000	2,088,000
	交流、キャンペーン等収入	2,403,623	1,491,000	3,894,623
	寄付・協賛金 (注1)	3,000,000	0	3,000,000
	受取利息	0	4,655	4,655
	雑収入	1,172	12,602	13,774
	収入高合計	8,962,795	5,578,257	14,541,052
経常費用(事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	2,686,780	1,791,187	4,477,967
	諸謝金	20,000	0	20,000
	法定福利費	28,234	18,822	47,056
	外注費	2,821,776	559,200	3,380,976
	荷造運賃	30,975	1,130	32,105
	会議費	38,500	39,000	77,500
	旅費交通費	233,558	18,926	252,484
	通信費	518,059	364,614	882,673
	会合費	1,687,257	1,491,521	3,178,778
	消耗品費	494,195	330,003	824,198
	新聞図書費	83,920	0	83,920
	賃借料	111,670	74,446	186,116
	雑費	332,337	82,010	414,347
	事業費・管理費計	9,087,260	4,770,860	13,858,120
当期経常増減額(事業損益金額)		-124,465	807,397	682,932
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)		-124,465	807,397	682,932
※一般正味財産期首残高			※	4,698,339
一般正味財産期末残高				5,381,271
正味財産期末残高				5,381,271

※令和7年度仮決算の期末残高

注1:100周年を契機として本格的に公益充実資金として募集する寄附金はほぼ考慮していない。公益充実資金は令和8年度末決算の際に繰入を行う。

<b>理事及び監事選任（選任決議事項）</b>	
<b>その他</b>	
<p><b>理事及び監事の選任</b> 次期理事・監事 (本総会決議事項) 任期 本総会終結後から、 本総会終結後2年以内 に終了する事業年度の うち、最終のものに関 する定時会員総会の終 結の時まで (令和10年3月まで の予定)</p>	<p>現在の理事及び監事は本会員総会終了時に全員任期が終了となります。 定款第21条第1項により、本会員総会の決議により選任すべき理事及び監事 については、以下の候補者を理事及び監事に選任頂きますようにお願いします。</p> <p>(1) 理事の候補者 再任(重任) 川村 隆、大久保 尚武、小池 明夫、鈴木 秀一、本間 修、岡村 進、有末 真哉、 新任 小林 敬一 室蘭市出身、北海道倶楽部正会員(2018年入会) 古河電気工業株式会社 取締役会長</p> <p>(2) 監事の候補者 再任(重任) 鐵川 照夫、 澤野 正明</p>
<p><b>その他参考事項</b></p>	<p><b>本総会終了後最初の理事会(書面)決議について</b> 定款第21条第2項に定める、理事の中より理事会の決議により定めること とされる、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理 事1名は標記理事会で定める予定です。 なお、定款第22条第5項の定めで、会長及び理事長は一般法人法第91条 第1項第1号に定める代表理事、副会長、副理事長及び常務理事は同第2号 に定める業務を執行する理事とされます。</p> <p><b>本会員総会終了時に全員任期が終了となる「評議員」及び「相談役ほか」の選 任について</b> ・定款第24条第2項により、正会員若しくは登録会員の中から理事会の推薦 により、理事長が委嘱する50名以内の「評議員」についても本総会後開催さ れる理事会で推薦され総会開催日に遡って委嘱される予定です。 ・定款25条に係る「名誉会長、相談役、顧問及び参与」も標記理事会で推薦 され総会開催日に遡って委嘱される予定です。 ・定款第39条第2項により、会員のうちから理事会が選任する「部会の構成員」 は別途、本総会後に開催される理事会で決議が行われる予定です。</p>



# 公益社団法人北海道倶楽部 令和7年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部  
代表理事 理事長 大久保 尚武  
公印省略令和7年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参加下さい。  
記**開催日時：**

令和8年3月11日10時30分より（約1時間の予定。10時10分開場。昼食の用意はありません。）

**開催場所：**星陵会館4階会議室（※北海道倶楽部事務所の隣のビルの4階、貸会議室なので開場前には入れません。）  
千代田区永田町2-16-2、TEL 03-3581-5650**議事に付すべき事項：**

別紙「令和7年度定時会員総会 議案」の通り。

**議決権行使会員：**会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。  
（維持会員は、維持会員の議決権行使書を持参した者が議決権を行使することが出来ます。）**議決権行使方法について：**

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

- 「会員総会出席による議決権行使」
- 「委任による議決権行使」（無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。）
- 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月9日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】  
（はがき サンプル）**1. 会員総会出席による議決権行使：**

会員総会出席者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

**2. 委任による議決権行使：（定款第18条第2項）**

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。（無記入の場合は議長に委任とさせていただきます。）

受任者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

**3. 事前の議決権行使：（定款第18条第1項）**招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月9日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。  
以上**【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】**

下記□にチェックを入れ至急送ってください。

無記入での返信は議長に委任とさせていただきます。

- 出席 （議決権行使書と議案をご持参ください。）  
欠席（1. 委任もしくは2. 事前議決権行使）

**【1. 委任による議決権行使】（記入がない場合は議長とします）**

- 議長に委任する。  
議決権行使書持参者に委任する。

（委任しないで欠席される方）

**【2. 事前議決権行使】（“否”の場合のみ下記□内にXをご記入ください。）****第1号議案—●承認事項**

- 損益計算書（正味財産増減計算書） 貸借対照表  
財産目録 キャッシュフロー計算書  
計算書類に対する注記

**第3号議案—●選任決議事項**

- |  |   |
|--|---|
| (1)理事 候補者 再任(重任)<br><input type="checkbox"/> 川村隆 <input type="checkbox"/> 大久保尚武<br><input type="checkbox"/> 小池明夫 <input type="checkbox"/> 鈴木秀一<br><input type="checkbox"/> 本間修 <input type="checkbox"/> 岡村進<br><input type="checkbox"/> 有末真哉<br>以下新任候補者<br><input type="checkbox"/> 小林敬一 | (2)監事 候補者<br>再任(重任)<br><input type="checkbox"/> 鐵川照夫<br><input type="checkbox"/> 澤野正明 |
|--|---|

令和8年3月11日(正会員・維持会員のID、お名前)  
(ID-1234 正会員/維持会員)

至急送付ください。3月9日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。

Mail: hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp Fax:03-3581-4022

NO. 123

公益社団法人北海道倶楽部 (TEL:03-3581-4021)

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX 先：03-3581-4022

mail: hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

なるべくFAXかmailでのご連絡をお願いします。